

1995年12月19日

送
り
先

MB (北陸) システム営業課 御中	丸善 (北陸) 営業課 御中	陸支 営業企画部	陸支 公共ビルシステム部
七宝 システム事業部 御中	NES 情報システム課 御中	(富山) 電力部	(金沢) 半導体・電子デバイス部
JMC 営業課 御中	北菱 情報機器課 御中	FAシステム部	FAシステム部
エム・アイ・エス 御中	MCC (北陸支所) 御中	公共ビルシステム部	電子・情報通信部
陸支 (富山) コ課			

陸支コ課情報

No. 48

内容

- ・シーケンサとシーケンス制御 第4回
- ・情報誌トピックス — 情報誌は発行責任者保管
 - 日経コンピュータ 12月11日号
 - 日経パソコン 12月18日 / 1月1日号
 - 日経エレクトロニクス 12月18日号
 - 日経マルチメディア 12月号
 - 日経オープンシステム 12月号
 - PC WAVE 1月号
 - LAN TIME 1月号
 - DOS / V magazine 1月1日 / 1月15日号

ソフトウェアはSRCへ！
キャンペーンも随時実施中
詳しくはSRCニュースを

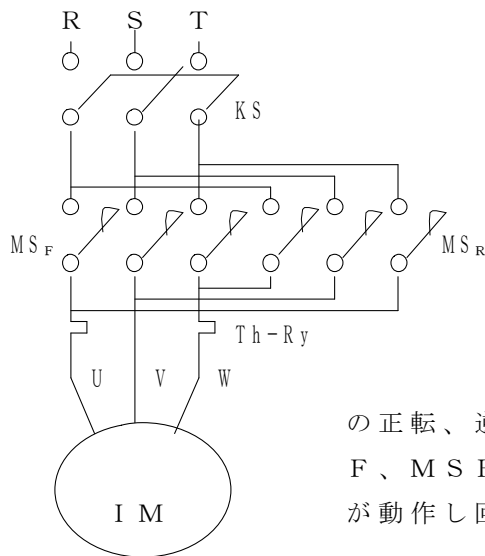
発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社
電子・情報通信部 コンピュータ課
稲崎義明

3. 基本的なシーケンス回路

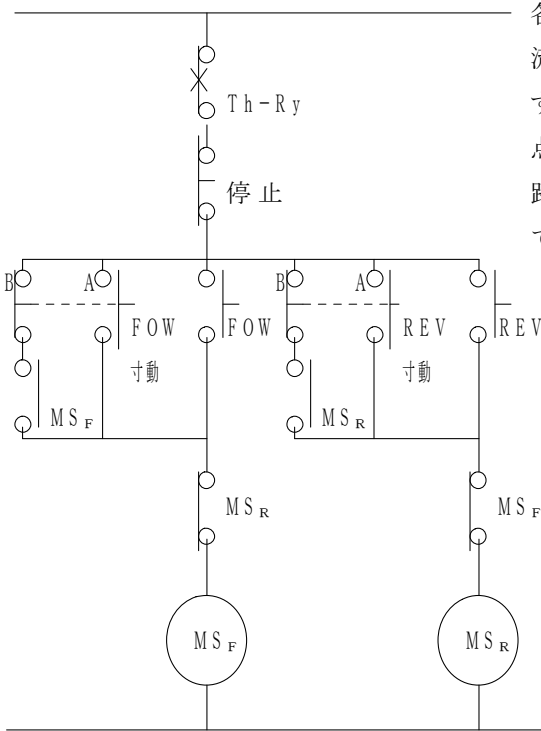
基本的なシーケンス回路として、低圧誘導電動機の制御シーケンスは次のようになります。

誘導電動機は、三相電流を接続することによって回転するモータですが、その回転方向は三相の順番（一般にR S T、U V Wであらわします）を入れ替えることによって反転します。つまり、下図のMSFがONする場合を「正回転」とすると、MSRがONすると「逆回転」となります。



図中のKSはナイフスイッチで元電源のON、OFFを行うスイッチで、Th-Ryは、サーマルリレーといって、回転機の保護をするリレーで、モータの温度が上昇した場合にその温度で回路を切断し回転機の暴走を防ぐものです。

下図が制御シーケンス回路です。このシーケンスでは、連続回転（正転、逆転）のほかに、寸動（スイッチを押している間だけ回転する）の正転、逆転が可能です。回転機は最下部のコイルMSF、MSRのどちらかに電気が流れることによってリレーが動作し回転します。正転側から説明すると、FOWのスイッチをONにすると、Th-Ry、停止、MSRの各接点はON状態ですから、コイルMSFに電流が流れリレーが動作し、回転機が回転します。この時、制御シーケンスの左端にある接点MSFがONになり、スイッチFOWとは別の回路が形成されますので、自己保持回路になってFOWをOFFしてもコイルMSFには電流が流



れ回転は継続します。停止させる場合は停止スイッチを押します。一方寸動の場合は、FOW寸動のスイッチを押すことによってAはONになりコイルMSFに電流が流れますが、BがOFFになりますので、自己保持回路が形成されなため、スイッチを離すと回転機は停止します。また、コイルの上の接点MSRは回転機が逆転をしている間にコイルMSFをONにしないための保護用接点です。つまり、回転方向を逆にすることは一旦停止スイッチを押す必要が有ります。

この制御シーケンスは簡単なものですが、時間的に各接点の動作を確認していくことによって複雑なものも理解できると思います。 (次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経コンピュータ 12月11日号

特集 やさしく使える「情報系」

→新しい情報系の特徴は、日常用語で使えるデータベースや自由に分析の切り口をかえられること

これまでの情報系は研修を実施しても思い通りには使いこなすことができない

NCセミナー マルチメディア時代の著作権

→マルチメディア時代の著作物の範囲、利用できる権利、権利者の特定など、実務上チェックすべきポイントを解説

NCトレンド 企業で使える一体型パソコン

ノート機は大画面・高解像度に

→年末に向かって発売されたパソコンの総括

○日経パソコン 12月18日／1月1日新春合併号

特集 1996年、パソコンはこうなる

気になる12のパソコン最新事情

①96年パソコンの買い方、20万円で買って使いまくるのが正解

②パソコン戦国時代元年、火蓋切ったDESKPOWER(NEC)対ValueStar(富士通)の戦い

③96年、普及進むWindows95の影にNTあり

④次世代MacはWin95キラーになれるか

⑤多機能チップが生み出す500ドルマシンはこれだ

⑥生まれ変わるビジネスアプリ、ソフトの部品化で使い方はどう変わる

⑦インターネットでパソコン通信は変わる

⑧96年はノート型パソコンが面白くなる

⑨主役は誰だ、96年の大容量リムーバブル記憶装置

⑩Game on Windows95、マイクロソフトは任天堂の夢を見るか

⑪96年、LANがオフィスを変える

⑫次世代機戦争勃発、96年米国のPCはこうなる

→1996年の動向を知るためには一読を

緊急レポート 出揃ったWindows95マシン

NEC、東芝など新シリーズを投入

→当社MS540について記事あり

「・・・総合電機メーカーが・・・パソコンに参入するなかで、トリを務めそうなのがこの三菱電機。さすがに最後の大物エントリーとなる・・・」

プロダクトウォッチ Windows95関連ユーティリティ

95の環境をより便利に安全にする製品がぞくぞく登場

→インストール支援、ツールキット、アンチウィルスソフト、学習用CD-ROM等

○経路エレクトロニクス 12月18日号

特集 インターネットへの高速アクセスが多様に

→来年から公衆網がマルチメディア対応に動き出す、インターネットへのアクセス手段として、ISDN、PHS、ケーブルテレビが名乗りを上げている

1部 <ネットワーク事業者の動き>

公衆データ通信網の未来像が見えた
インターネットに照準を合わせ続々名乗り

2部 <ISDN>

料金体系は多様に、端末アダプタは64kビット/秒の同期型へ

3部 <PHS>

32kビット/秒の無線データ通信、96年度中にもサービス開始へ

4部 <ケーブルテレビ>

4M~27Mビット/秒の高速伝送、フィールド実験が国内で始まる

特集 3次元LSIに沸いたCOMDEX

→COMDEX/Fallは3次元LSIと周辺装置LSIに沸き、PCカードを使ったマルチメディアも注目を集めた

パソコン：PowerPCの標準ハード仕様登場

→3社作成の「PowerPCPlatform」

グラフィックス：大手4社が3次元LSIを発売

→3次元グラフィック機能を持つVGAコントローラLSI

周辺装置：ポストSCSIに活気

PCカード：ZVPortを各社がデモ

→PCカードで動画データをやり取りする規格ZVPort

外部記憶装置：4.6Gバイトの光ディスクを展示

技術 家庭向パソコン、電取法準拠で安全対策

→家電製品となったパソコン、電取法クリアのノウハウ解説

技術 DOS/Vの開発（第3回）

○経路マルチメディア 12月号

特集 マルチメディア・インフラはこう使う！！

電子メールの威力

～情報共有からWWWとの連携まで～

→WWWだけとみられがちなインターネットを、電子メールとして捉えた場合の使い方と利用価値について

Part1 “同報と転送”の使い方決まる

→個人個人間で送りあうメールではなく、同報機能、転送機能を用いることによって情報の共有化を図ることができる

Part2 “読めない・届かない”壁を越える

→インターネットを使ったメールは万能ではなく対処方法を知っておく必

要がある

Part3 Webとの連携がビジネスを広げる

→WWWを使ったオンラインショッピングにはメールで申し込むことになり、利用範囲は拡大する

Special Netscape Navigator 2.0 登場

ネットワークOSへの進化始まる

→アプリケーション実行環境を備え、SQLによるデータベースへのアクセスも可能になってネットワークOSとしての進化が始まっている

・Shockwave、DirectorムービーをWebに取り込む

・Acrobat、インターネット上の文書配布に威力

IndustryFinder 95年総決算 マルチメディア企業連携

○経オズシステムズ 12月号

特集 企業にとってのWindows 95

Part II クライアントOSとしての実力を検証する

→プロトタイプを作って検証

第I部 プロトタイプング ネットワークを自由に操るデスクトップを作ろう

→Win 95を生かすアイデアによりプロトタイプ作成

第II部 ネットワーク機能 多様なネットワーク資源を簡単な操作で駆使する

→Win 95のネットワーク環境の活用

第III部 アプリケーション開発

OLE 2.0の実力を検証、課題は実装形態による処理性能の格差

→VB 4.0によるC/Sシステムの作成方法

第IV部 ネットワーク性能

プロトコルの種類により3.1からの改善度に差

オープンサーベイ Windows用ホスト端末GUI化ツール

端末ビジュアル化でホストの既存資産を生かす

Windows開発ツールとの連携も可能に

→操作性の向上とホストの負荷軽減のためのGUI化ツールはWindows開発ツールとの連携によってデータ自体を連携させることも可能になってきている

オープンレポート Win 95搭載ノートを4400台導入、汎用機をモバイル環境からアクセス

→Win NTとWin 95組み合わせによってリモートアクセスシステムを構築、必要なときに必要なデータをダウンロード

特別付録：CD-ROM

Lotus Approach 96、Windows NT 3.51など

○PC WAVE 1月号

特集 PB-SRAM/EDO DRAM対応の「Triton対抗チップセット」搭載マザーボードカタログ

- 現在主流となっているIntelのTritonチップに対抗したSIS、UMCなどのチップセットを搭載したマザーボードの特集
- 特集 虚実皮膜の間「OSエミュレータ」を楽しむ
- 別のマシンで動作を擬似的に行おうとするエミュレータ、古今東西色々なものがあるものです
- Part1 <OSエミュレータ概論>
「マルチプラットフォームとしてのPC」の夢を見ませんか？
- Part2 <Ataru、Commodore、MSX・・・>
インターネット上の“妖しい”エミュレータ・ワールドに行き続ける我が愛しの8ビットパソコンたち
- Part3 <OSエミュレータの最高傑作>
Executer/DOS1.99nでMacintoshアプリを楽しむ
- Part4 <Apple IIエミュレータとはなにか>
インターネット上のエミュレータ遊びを横目に、いまだ現役の「我がApple II」に花束を
- Part5 <IIeエミュレータの傑作AppleWin>
懐かしいやら悔しいやら・・・。IBM PC/AT互換機とWin95で「リンゴ白書」をもう一度
- Part6 <98/Vの動作原理>
98DOSは終焉し、互換機上に「98/V」が生き残るのだろうか？
- Part7 <大英帝国の“PDA”をご存じですか？>
PisonSeries3/3aの「EPOC」OSをエミュレートする
- 特別付録：CD-ROM
MacintoshとPC98のエミュレータなど

○LAN TIME 1月号

- 特集 Windows95で変わるネットワーク
- Win95の導入からそのネットワーク機能までを解説
- プロログ Windows95でLANはどのように変わるか
- Win95のマシン2台でピアツーピアのLAN環境が可能、補助サーバとして用いることによって多彩なネットワークの構築が可能
- PART1 WindowsNT、NetWareとの共存環境を構築する
- WinNTとNetWareについて、プロトコルやモジュールの設定方法を中心に解説
- PART2 Windows95の通信機能
- 非同期通信サーバ、TCP/IP対応など
- PART3 Windows95を円滑に導入するために
- Win95を導入するために必要な知識と注意点について
- INTEGRATION ISDNでのNetWare接続におけるSPX問題の原因とその解決②

○DOS/V magazine 1月1日/15日号

特集 これで完璧！新鋭マザーボードを攻略する

Overview ポストPentium時代のマザーボード選び

→マザーボードを代えることによってマシンはまた新しくなる、自分で手を加えたい人のためのマザーボード講座

PART1 マザーボードの見方・買い方教えます

PART2 押さえておきたい基礎知識

PART3 アップグレード縦横無尽

PART4 マザーボードカタログ最新版

特別企画 32ビット時代のDOSを考える

→32ビット時代のOS、Windows 95の中においてDOSはどのように生き残っているか

Overview 32ビットOSのDOSプロンプト

→Windows 95で使うDOSプロンプトとは

PART1 バーチャルDOSマシン

→Windows 95のDOSはDOSであってDOSでない仮想DOS
その実現方法は

PART2 コマンドラインインターフェースを活用する

→Win 95には2つのDOSがあり、Win 95で拡張されたDOSは

PART3 DOS 7を解剖する

→DOSの最新版DOS 7の未来は

PART4 Windows 95のコマンドプロンプトを使う

→Win 95の各DOSモードの違いとその活用法について

特別企画 Dr. パソコンが占う96年のPC市場

- 予測の内容
- ・ホームコンピュータ時代の開幕
 - ・パソコンシェアが変わる
 - ・ますます激化する価格競争
 - ・本格化するOS戦争
 - ・どれが定着するのか大容量媒体
 - ・今年始まるワイヤレス通信
 - ・パソコン雑誌は整理統合の年

特別付録：CD-ROM

Office 95オートデモ

INDYCAR RACING II ほか

特別：九十九電機からMS 540が258,000で通信販売で購入できます